2026年11月13日

各　位

会社名　　株式会社雨風太陽
代表者名　　代表取締役社長　　高橋　博之
（コード番号：5616　東証グロース市場）
問合せ先　　コーポレート本部長　　楡金　和哉
（TEL.03-6278-7890）

通期業績予想の修正及び特別損失（投資有価証券評価損）の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026年２月13日に公表いたしました2026年12月期通期業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）を修正しましたので、以下の通りお知らせいたします。

また、2026年12月期第３四半期会計期間（2026年７月１日～2026年９月30日）において、特別損失（投資有価証券評価損）を計上いたしましたので、併せてお知らせいたします。

1.　通期業績予想値の修正について

（１）2026年12月期通期業績予想値の修正（2026年１月１日～2026年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株あたり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円　銭
前回発表予想（A）	1,094	25	28	30	12.43
今回修正予想（B)	914	△44	△41	△74	△30.58
増減額（Ｂ－Ａ）	△179	△69	△70	△104	
増減率（　％　）	△16.4	―	―	―	
（参考）前期実績（2025年12月期）	1,027	△7	20	△4	△1.71

（２）差異の主な理由

2026年12月期は、2026年２月13日に公表いたしました2026年12月期通期業績予想に対し、売上高、営業利益及び経常利益は業績予想を下回る見通しです。また、「２．特別損失（投資有価証券評価損）の計上について」に記載の通り、特別損失として投資有価証券評価損23百万円を計上した結果、当期純利益についても業績予想を下回る見通しです。

セグメント別にみると、個人向けサービスのうち食品事業では、産直アプリ「ポケットマルシェ」の購入者数の減少に伴い流通額が減少したことにより、売上高は業績予想を17.0%下回る555百万円となる見通しです。旅行事業では、子ども向け企画旅行「ポケマルおやこ地方留学」において、プログラム内容に安全上の指摘があったことを踏まえて、2026年夏プログラムの新規受付を全面停止のうえ、緊急安全点検を実施し、販売を停止した時期があったことにより、参加家族数が前期の186家族から79家族に減少し、売上高は業績予想を61.3%下回る38百万円となる見通しです。その結果、個人向けサービスの売上高は業績予想を22.6%下回る595百万円、営業利益は業績予想を39.9%下回る118百万円となる見通しです。

また、法人向けサービスの自治体事業では、関係人口領域などの受注が好調に推移し、概ね業績予

想どおりの見通しです。法人向けサービスの売上高は業績予想を1.8%下回る319百万円、営業利益は業績予想を3.4%上回る48百万円となる見通しです。
　なお、上記の各セグメント利益の合計額から、いずれのセグメントにも配分していない全社費用を控除した結果、当期の営業利益は△44百万円（営業損失）となる見通しです。

　なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2.　特別損失（投資有価証券評価損）の計上について
　当社が保有しております投資有価証券について、取得時の事業計画から乖離が見られ実質価額が低下したため、2026年12月期第３四半期会計期間（2026年７月１日～2026年９月30日）において、減損処理による投資有価証券評価損23百万円を計上いたしました。

以　上